

第3回 池子小学校区住民自治協議会 代表者会議 会議録

開催日時	平成28年12月3日(土)19:00～21:30
場所	池子会館 3階 大広間
出席者	(順不同・敬称略) 役員:斎藤丈夫・大澤平三郎・伊藤芳昭・辻本順子・柳澤千恵子・相川時雄(司会・書記) 代表者:小峰由美子・須田和男・大西晴史・島田浩三・金子亮・石川厚・筑田恵子・青木雅治 鈴木壇・鈴木郁江・小林五郎・大江悦子・中村正喜・吉田綾子・金子美香・星野清行 オブザーバー:谷田通春(社会福祉協議会)・高梨伸行(東逗子第二団地) 市職員:細野裕・山道宗晃・菅井瑛理香(記録者) 欠席:田宮知義・増田勝頼・岡本仁・相馬由里子・吉田文男・安藤恵美子・松方真人 大河内誠・押川哲也
議題	1.選択事業について 2.29年度活動方針(計画)について 3.29年度の役員選出について 4.臨時代表者会議開催について 5.アンケート集約状況について(報告) 6.その他
議事概要	・斎藤会長 挨拶 ・市民協働課 細野裕 挨拶 市担当職員紹介 児童青少年課 山道宗晃 介護保険課 菅井瑛理香 1.選択事業について(斎藤) ・概要説明 ・28年度は選択事業を行っていない。29年度は、事業候補の中から1つ選択して行うのはいかがか。 ・質疑応答等 ①他の事業と選択事業の兼ね合いは、どのようになっているのか→自主事業:会の運営、共通事業:28年度はアンケート・29年度は行わない、選択事業:28年度は行っていない・行った分の補助金が交付される ②今回の話し合いで、29年度の内容を決めるということによろしいか→そのとおりである ③選択事業のリストは、どのように作られたのか→市(細野):他の住民自治協議会で議論した中で出てきた候補である。候補以外のものを行う場合でも、市民協働課で対応していく。 ④協議会として、補助金が交付されるということか→そのとおりである ⑤既存の事業も対象となるのか→既存の事業ではなく、協議会として新規に行う事業が対象 ⑥各自治会で様々な事業を行っている。それらの経験を活かすべき。既存を対象外とするのは、いかがなものか。→既存の事業を協議会としてまとめれば、対象となる 市(細野):既存事業をグレードアップする、まとめる、広げる場合は対象となってくる ⑦各自治会でやっている事業をプレゼンする場を設けるべき。例えば、第1・2・3アザリエでは、パトロールを実施している。→その活動が全地域へ広がると、選択事業として対象となる。 選択事業について、本日いきなりの提示となってしまう、申し訳ない。市からの提示も遅く、皆様へ周知できなかったが、候補の中から1つ事業を行えればと思う。 ⑧部会を立てた方がスムーズと思われる。この話し合いで、どこまで決めればよいのか。来年度行うことを決定すればよいのか、部会のメンバーまで決めなければならないのか。→実際に活動するのは29年度からである。事業を行う、部会を立ち上げるといったところまで決めることができれば、期日までに市へ申請できる。 ⑨補助金ありきの議論になっているように思われる。目的が先立つべきである。行いたい事業がないようなら、この場で決めず、29年度に30年度行う選択事業を議論するのはいかがか。→選択事業の内容が、29年度の目標にもなってくると思う。ここで決定しないと、議論が先送りになってしまうのではないか。 ⑩アンケートの結果を待って、議論すべきではないか→アンケートの集計はこれから行うため、29年度への反映は難しいと思われる ⑪補助金を抜きにして、29年度の目標を候補リストから決めると考えた方が議論が進むのではないか。市から事業の一覧が示されたのはいつか。→11月上旬→市の提示が遅すぎる。 市(細野):全員で議論し、納得のうえでの決定が一番よい。取り組みたいものを行うということが基本である。 ⑫全ての事業を行うと申請、行わなかった分を返還することは可能か→市(細野):可能である、会計:返還の事務が煩雑となる ⑬新規で事業を行うのは、各団体で足並みをそろえる等、難しい面がある。既存の事業を検討した方がよいのではないか。例えば、健康まつり等。→健康まつりは、体育協会が主催であり、補助金の対象となるには協議会が主催とならなければならない。 ⑭まちづくりネットワークに参加したが、他の協議会は補助金対象事業へ力を入れている印象

第3回 池子小学校区住民自治協議会 代表者会議 会議録

である

- ⑮この場でまとめるのは難しいのではないかと。やはり、アンケートの集計を待ち、29年度に30年度に行う選択事業について検討の時間を設けるべきではないかと。
- ・(相川)決を採る。選択事業について、29年度は申請せず、検討期間とすることに賛成の方は挙手を。→議決権28、参加者22、賛成17(役員5名除く):賛成多数で可決

2.29年度活動方針(計画)について(相川)

- ・概要説明、29年度に行うことの参考として伺いたい
- ・質疑応答等
 - ①ごみの問題について取り上げたい。分別できない方への対応等、各団体に抱えている問題を共有したい。
 - ②各地区の問題を共有したい
 - ③アンケートの集計結果を、反映していきたい
- ・29年度の計画はこれからたてる。いただいたご意見を参考にさせていただく。

3.29年度の役員選出について(柳澤)

- ・配付資料を用いて概要説明
- ・質疑応答等
 - ①推薦されても、辞退することは可能か→辞退は認められない
 - ②市は地域自治は推進しているが、なぜか。市のフォローや心のケアがなければ、いずれ破たんするのではないかと。市に、市民の負担感を知ってほしい。→ここは自治をやりたい人の集まり。ボランティアとして考えるべき。
- 市(細野):市民へお願いをするのは心苦しいところもある。地域自治のスタートは、人との繋がりである。3.11で多くの命を救ったのは、地域の隣人であったことを思い出してほしい。
- ③4月に交代となるが、現代表者から選出すると、その方は継続となる→この件については、以前了解されている。引継がれていない現状が問題である。
- ④自治とは何か、改めて考えるべき。自治を考えるような機会があるとよい。→各団体が様々な活動をしている。目的別に、活動している方の意見を聞くと、良い情報交換になるのでは。
- ⑤12/3、4と、協議会関係のイベントが続く。連日参加するのは厳しい。スケジュールを考えてイベントを設定してほしい。
- ⑥自治会の会長選出が、いつも難しい。協議会の役員の話が出ると、より決まらなくなる。会長が決まらない場合、協議会への出席は、どのようになるのか。→協議会の出席者は、会長と限らない。自治会で協議会へ出席しない・抜けると判断されると、協議会を抜けてもらうこととなる。協議会は市とフランクに話せる場であるので、抜けるメリット・デメリットをよく考えて判断していただきたい。
- ・(斎藤)本来であれば、挙手をして決めてほしい。役員が決まらなないと、協議会は続かない。役員となった方は、協議会をつなげてほしい。役員を続けるのが難しい方については、役員内でカバーをしていく。役職は、役員内で決定する。自薦がなければ、投票となる。対象は、自治会の代表者である。

4.臨時代表者会議開催について(斎藤)

- ・臨時代表者会議開催 2月4日(土)19:00～ 池子会館 3階 大広間 :役員選出

5.アンケート集約状況について(報告)(斎藤)

- ・2200配付し、約1100回収した。これから集計し、フィードバックしていく。

6.その他(斎藤)

- ・今後の予定について
2月4日(土)臨時代表者会議、3月4日(土)定例会、4月30日(日)総会(予定)
次回 臨時代表者会議 2月4日(土)19:00～ 池子会館 3階 大広間 :役員選出